

こんにゃく作り

3年生は、総合的な学習の時間で神石高原町の特産品の「こんにゃく」を育ててきました。

5月の「いも植え」、6月の「追肥」「土かけ」から夏の草取り、10月の「収穫」まで自分たちで育てたこんにゃくいもを使って、2月21日に親子で「こんにゃく」を作りました。



①茹でたいもの皮をむく。

「ねばねばしてる」と言いながら、こんにゃくの皮をむくのがやっと終わりました。ぼくは、皮をむくのとこねるのがむずかしかったです。でも、上手にできてよかったです。

②水を加えて、ミキサーでかくはんする。



「は一、つかれた。」わたしは、こう言っていました。どうしてかという、こんにゃくいもの皮をむいで、ほう丁で切って、水を入れてミキサーでまぜる時にこんにゃくいもがひっついて動かなくなったり、手がかぶれそうになったりしたからです。わたしは、かゆくてもたくさんかきまぜました。

③炭酸ナトリウムを入れて、ひたすらこねる。



「でかすぎー」と思いました。丸める時、友達がものすごいでかいこんにゃく玉にしたからです。ぼくは、大きいのと小さいのを作りました。そして、食べる時になりました。ぼくは、食べたくてたまりませんでした。食べてみると、おいしかったです。いいのが作れてよかったです。今日は、楽しい1日になりました。

こんにゃくを丸めるのだけど、なかなかきれいにできないので、友達のおばあちゃんに聞いてみると、「水をつけないと、きれいにならないよ。」と教えてくださいました。わたしは、そのアドバイスを聞いた後、やってみると本当にきれいになりました。わたしは、おばあちゃんはこんにゃくのいろいろなことを知っておられたのですごくと思いました。

今回は、こんにゃくの作り方の先生に児童のおばあさんに来ていただきました。ありがとうございました。

④手で丸めて湯の中に入れて、ゆがいて完成！



「いただきます。」取ったとたん、わくわくして食べました。わたしはからしみそを使って食べました。チームのみんなや保ご者の人たちも「おいしい。」「うまくできとるじゃん。」と言いながら食べていました。



⑤お楽しみ試食タイム！



「時代が変わっても、昔から引きつがれてきた知恵や技を大切にしたい」

神石小学校では神石の特産品のこんにゃく作りをこれからも引き継いでいきたいと思います。

